

受けとめて最善の毎日をつくろう

タイトル「うけとめて、さいぜんの、まいにちを、つくろう」は、本校の生徒会本部の活動方針です。語句の最初の文字を合わせると「うさまつ」となり、これは本校の生徒会本部公式キャラクターの名前です。（下図参照）

本校の生徒会活動について紹介します。生徒会活動は生徒たちによる自治活動として活発に行われています。先月は生徒総会を開いて、各委員会の活動方針や活動内容を全校生徒で決めました。特徴的な活動としては、7月と12月の「生徒会月間」があります。各専門委員会が生徒の思いを受けとめ、全校生徒に楽しんでもらえるような企画を準備して実施します。

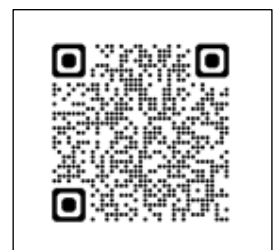
生徒会は学校と地域の連携にも積極的に協力しています。

本校を会場に行われる、高輪地区総合支所主催の「港区総合防災訓練」では、本校生徒会が「防災クイズ」のブースを出しています。正解した方には本校オリジナルの「うさまつグッズ」をプレゼントしています。土砂災害警戒区域をもつ地域なので、地域の大人だけでなく子どもたちにも防災の意識を広めたいと、生徒たちは子供向けの問題も作成しました。

また、本校の敷地は1/3以上が自然の森になっているので、この森を地域とつながる活動にいろいろ活用しています。今ちょうど、アズノの実が熟しています。先日、実が地面に落ちないように主事さん方に手伝っていただきながら、ネットを張りました（写真参照）。収穫したアズノをプレゼントするポスターを掲示して地域にお知らせしました。この後も、ザクロやミカンなどの実が生ります。さらにブルーベリーの木を植えました。収穫が楽しみです。森の活用はそれだけではありません。公道に面したところにアジサイの木が並んでいます。来月には総合支所と連携して森の一部を開放し、「あじさいロード」として地域の方が森の中を散策できる日を設けています。

これらの活動を「高松の森プロジェクト」と名付けています。前述の総合防災訓練への参加と併せて、地域の思いを受けとめる本校の生徒会活動の特徴です。これらの活動は、昨年度の「港区小中学校マイスクールPRコンペティション」において、最優秀賞に輝きました。

このように、生徒会という組織を通して、生徒たちも地域と連携しています。将来の地域を担う頼もしい存在です。



生徒会本部の公式キャラクター「うさまつ」と高松の森にある「アズノの樹」

港区立高松中学校公式 X

学校生活のようすなどを公式 X にて発信しています。学校 HP の学校ブログと合わせてご覧ください。